

みずほCustomer Desk Report 2016/08/30 号(As of 2016/08/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.93 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.94	1.1196	114.14	0.9780	1.3125	0.7540
SYD-NY High	102.39	1.1208	114.69	0.9806	1.3139	0.7582
SYD-NY Low	101.84	1.1158	113.97	0.9766	1.3060	0.7525
NY 5:00 PM	101.91	1.1189	113.98	0.9781	1.3105	0.7568
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.26/14.71		△25RR	0.013	Yen Call Over	

NY DOW	18,502.99	107.59	債券市場	日本2年債	-0.1810	▲0.9bp
NASDAQ	5,232.33	13.41		日本10年債	-0.0630	0.7bp
S&P	2,180.38	11.34		米国2年債	0.8052	▲3.8bp
日経平均	16,737.49	376.78		米国5年債	1.1686	▲6.8bp
TOPIX	1,313.24	25.34		米国10年債	1.5595	▲7.0bp
シカゴ日経先物	16,710	115.00		独10年債	-0.0830	▲1.1bp
ロンドンFT	-	-		英10年債	0.5640	-
DAX	10,544.44	▲43.33		豪10年債	1.8790	2.5bp
ハンセン指数	22,821.34	▲88.20		USD/CNH	6.6897	▲0.0036
上海総合	3,070.03	▲0.28		ドルインデックス	95.55	▲0.01
USDJPY 3M Vol	12.97	0.21%	為替市況	CRB指数	184.434	▲1.68
USDJPY 6M Vol	12.30	0.08%		NY金	1,327.100	1.20
EURJPY 3M Vol	11.68	0.25%		WTI	46.980	▲0.66
EURJPY 6M Vol	11.46	0.08%		Dubai Spot	46.00	▲0.04

東京	ドル円は朝方に先週金曜日海外時間の流れを引き継ぎ102.14まで上昇した後、101.94レベルで東京時間オープン。先週金曜日のイエレンFRB議長及びフィッシャーFRB副議長の効率的な発言が意識されたことや日経平均株価が堅調推移となったこと等からドル円はじり高推移となり102円台まで上昇。約2週間ぶりに102円台にのせたことや月末絡みの実需勢による円転フローが意識されたこと等から101.84まで下押しされる局面も見られるも、下落は限定的。その後102円台を回復した後は小幅上昇し、102.37レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	休場
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は102.28でオープン。朝方発表された米PCEコアや個人所得・支出はほぼ予想通りの結果にドル円への影響は限定的となる。午後に入り、ダウは堅調推移するも米債利回りが低下しドルは上値が重くなるとドル売りが優勢となり102円を割込む展開となった。その後は今週2日の米雇用統計を控える中、先週末に高まった早期利上げ期待も一服した模様で、ドル円は一時101.86まで値を下げ101.91レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロは1.1169レベルでNYオープン。朝方は先週末の米FRB高官の発言を受けたドル高の動きが継続し、またユーロドルの戻り売りが優勢となり一時1.1158まで下落。その後、ドル売りを誘発する材料は特段見当たらなかったが、米債利回りが低下したこととドル売りが優勢となるとユーロドルは1.1193まで上昇し、1.1189レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	米	個人所得/個人支出	7月	結果	予想
8月29日	21:30	米	PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	7月	0.4%/0.3%	0.4%/0.3%
	21:30	米		7月	0.1%/1.6%	0.1%/1.5%
	23:30	米	ダラス連銀製造業活動	8月	-6.2	-3.9

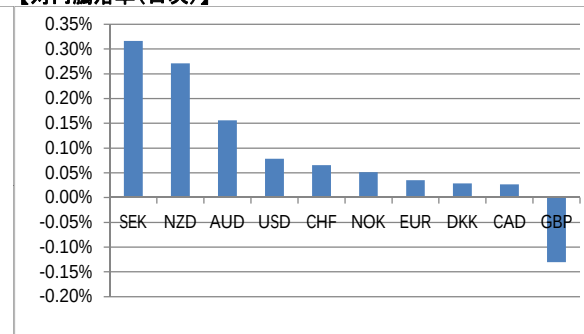
【本日の予定】

Date	Time	豪	住宅建設許可件数(前月比/前年比)	7月	予想	前回
8月30日	10:30	豪	消費者信頼感・確報値	7月	1.1%/-8.3%	-2.9%/-5.9%
	18:00	欧	フィッシャーFRB副議長、インタビュー	8月	-8.5	-8.5
	19:30	米		-	-	-
	21:00	独	消費者物価指数・速報値(前月比/前年比)	8月	0.1%/0.5%	0.3%/0.4%
	23:00	米	消費者信頼感指数	8月	97.0	97.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.00-103.00	1.1100-1.1250	113.00-115.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円はやや円の買い戻し優勢の展開。FRBイエレン議長が前週の講演で利上げに前向きな発言をした他、その後フィッシャーFRB副議長も年内2回の利上げの可能性を示唆したこと等から、ドル円は東京朝方からじりじりと上昇したものの、海外市場に入ってから売り戻し優勢となる中、やや円高方向となり、再び102円を割れとなった。今週金曜日に発表が予定されている米雇用統計の内容次第では9月の利上げ可能性も完全には否定できないが、指標を前にポジションを傾ける向きは少ないとみられ、基本的にはドル円は底堅い動きを予想するが、積極的に上値を追いかける展開には発展し難いだろう。